# **Panasonic**

電力表示ツール KW View **導入ガイド** 

# <u>目次</u>

1章 はじめに	1
2章 KW View について	3
3章 基本的な操作手順	4
4章 インストール・アンインストール方法	5
4.1 インストール(バージョンアップ)方法	5
4.2 アンインストール方法	8
5 章 起動·終了方法	9
5.1 起動方法	9
5.2 終了方法	9
6 章 メニュー画面操作	10
6.1 各ボタン説明	10
6.2 メニュー項目説明	11
7章 ファイル取り込みについて	12
7.1 ファイル取り込みの流れ	12
7.2 取り込みファイルについて	13
7.3 ファイル取り込み元(SD メモリーカード内)構成について	13
7.4 ファイル取り込み	14
8章 CO₂換算係数設定について	16
9章 料金換算係数設定について	17
10 章 単グラフ表示	18
10.1 条件選択	18
10.2 お気に入り登録	22
10.3 単グラフ画面	23
11 章 比較グラフ表示	27
11.1 比較パターン選択	27
11.2 条件選択	28
11.3 比較グラフ画面	34
12 章 付録 1	39

# 1章 はじめに

KW View とは、KW1M-H エコパワーメータ SD カード対応タイプ、 KW2G-H エコパワーメータ基本ユニット SD カード対応タイプにて SD メモリーカード内に取り込んだロギングデータを、パソコン上で確認することが できるアプリケーションソフトです。

本書は、KW View の機能および操作方法に関して記載しています。

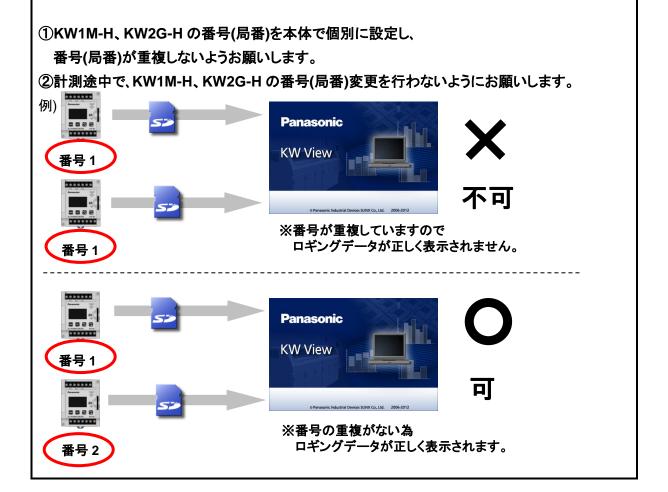
#### 【注意事項】

- 1. 本ソフトウェアは、省エネを目的とし簡易的に現在の状況を見るためのソフトウェアです。 本体側のシステムの誤動作、計測開始時間や計測タイミングのずれ等により、 表示内容が実際の値と異なる場合がありますので表示したデータは 保証するものではありません。
- 2. 本ソフトウェアは省エネ目的の自主管理用のため、課金目的には利用できません。
- 3. KW View の仕様およびマニュアルの記載内容は、将来予告なしに変更することがありますので御了承ください。
- 4. Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 マニュアルに記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- 5. KW View をご使用される場合は、OS の管理者権限を有効にしてください。

# KW View で正しく表示させる為に、以下のことを必ずお守り下さい。

KW View で、複数の KW1M-H、KW2G-H のデータを表示する場合は、 以下の点を必ずお守り下さい。

取り込んだロギングデータが混在し、正しく表示が行えません。



# 2章 KW View について

# 〇主な機能

- ・取り込んだロギングデータを、年・月・日ごとに、単グラフ・比較グラフ表示が可能
- ・表示したグラフを印刷・画像データファイル(ビットマップ形式)に保存
- ·CO<sub>2</sub>排出量·電気料金の換算表示(注:表示は、目安値になります)

# ○動作環境

OS :Windows 8.1、Windows10 推奨 CPU :Intel Celeron 700MHz 以上

必要ハードディスク容量:100MB以上メモリ:256MB以上画面解像度:1024×768以上

# 【注意事項】

画面の色を High Color(16bit)で使用すると、本来の色とは異なってしまう可能性があります。32Bit 色に設定することを推奨します。

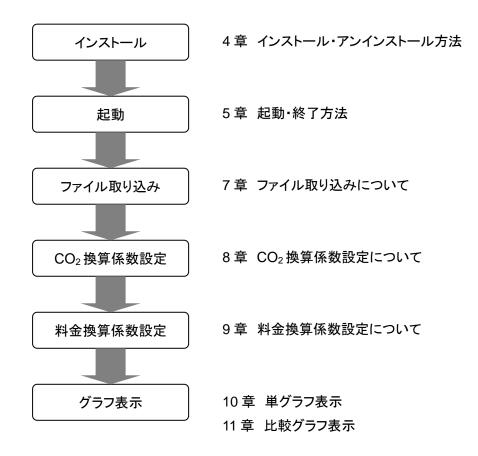


# 〇対応機種

KW1M-H エコパワーメータ SD カード対応タイプ KW2G-H エコパワーメータ SD カード対応タイプ

# 3章 基本的な操作手順

インストールからグラフ表示までの流れを以下に記述します。詳細は、各章をご覧ください。



# 4章 インストール・アンインストール方法

インストール・アンインストール方法を以下に示します。

# 4.1 インストール(バージョンアップ)方法

# 注意事項

・バージョンアップやバージョン変更を行う場合は KW View をアンインストール後、 再度インストールを行っていください。アンインストールはアンインストール手順をご参照ください。

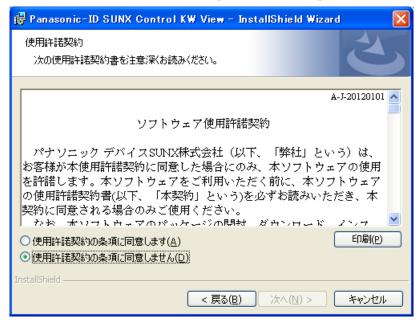
①セットアッププログラム(Setup.exe)をダブルクリックして起動すると、インストールが開始します。 バージョンアップを行う場合も、(Setup.exe)を実行してください。 インストールで使用する言語を選択してください。



次のような画面が表示されたら「次へ」ボタンを押し、次へ進みます。



②ライセンス条項を読んだ後、「**同意する」**を選択後、「次へ」ボタンを押します。



③ユーザ情報を入力し、「次へ」ボタンを押します。



④インストールフォルダを確認し、「次へ」ボタンを押します。



⑤「インストール」ボタンを押すと、インストールが開始します。



インストール中の表示がしばらくの間表示された後、完了メッセージが出ると、インストール完了です。

#### インストールされる場所

[インストールフォルダ]¥KW View

# 4.2 アンインストール方法

スタートメニューより、[コントロールパネル(C)] → [プログラムの追加と削除]で、

#### **『Panasonic-ID Control KW View』**

を選択し、削除をクリックすると、アンインストールが始まります。

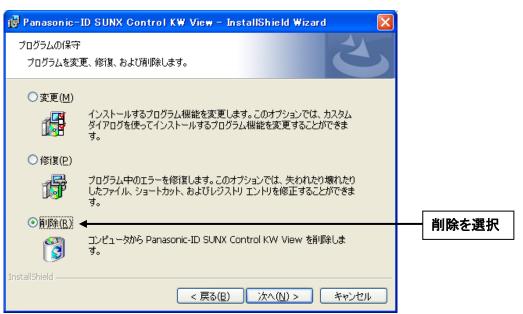
アンインストール中の表示がしばらくの間表示された後、完了メッセージが出ると、

アンインストール完了です。

# 【注意事項】

Windows 8.1 以降では、スタートメニューから [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] から、アンインストールを行います。

セットアッププログラム(Setup.exe)をダブルクリックして起動しても、アンインストールすることができます。



「削除」を選択後、「完了」ボタンを押すと、インストールが始まり、

アンインストール中の表示がしばらくの間表示された後、完了メッセージが出ると、

アンインストール完了です。

# 【注意事項】

- ・インストールに使用したインストーラでのみ、この方法でアンインストールが可能です。 Setup.exe をダブルクリックしても上の画面が出てこないときは、一旦[キャンセル]で終了し、 [プログラムの追加と削除]からアンインストールを行って下さい。
- ・インストール、アンインストールは、管理者権限のあるユーザで行って下さい。

# 5章 起動·終了方法

# 5.1 起動方法

スタートメニューから、

[すべてのプログラム(P)]  $\rightarrow$  [Panasonic-EW Control]  $\rightarrow$  [KW View]  $\rightarrow$  [KW View]  $\rightarrow$  [KW View] をクリックしてください。

起動時に次のようなスプラッシュ画面が一定時間表示され、その後、スプラッシュ画面が消えて メニュー画面(**6 章参照**)へと遷移します。

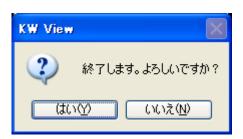


【スプラッシュ画面】

【メニュー画面】

# 5.2 終了方法

メニュー画面を閉じるか、メニュー画面の「**終了」**ボタンを押すと、 次のようなメッセージが表示されます。



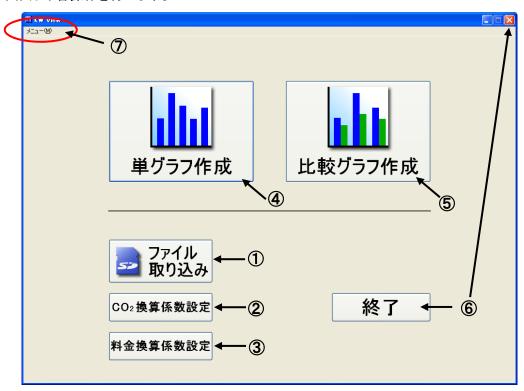
「はい(Y)」ボタンを押すと、KW View が終了します。

グラフ表示時は、ウインドウ右上の『×』ボタンを押すことで、終了確認メッセージが表示され、KW View の終了ができます。(10.3、11.3 参照)

# 6章 メニュー画面操作

# 6.1 各ボタン説明

KW View を起動すると、スプラッシュ画面に続き、次の様な画面が表示されます。 この画面より各操作を行います。



①ファイル取り込み

SD メモリーカードからデータを取り込みます。

(7 章参照)

②CO<sub>2</sub>換算係数設定

電力量から CO<sub>2</sub> 排出量を換算するための係数を設定します。

(8 章参照)

③料金換算係数設定

電力量から電気料金を換算するための係数を設定します。

(9 章参照)

④単グラフ作成

番号(01-99)、期間(年、月、日)を選択し、単一のグラフを表示します。

(10 章参照)

⑤比較グラフ作成

番号(01-99)、期間(年、月、日)を 2 パターン選択し、2 つの比較グラフを 表示します。

(11 章参照)

⑥終了

KW View を終了します。

⑦メニュー

メニュー項目を開きます。

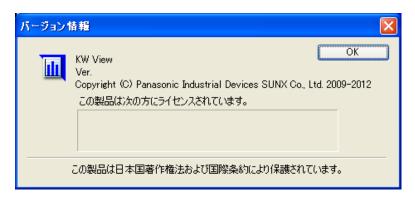
(6.2 参照)

# 6.2 メニュー項目説明

メニュー画面のメニューバーにある「メニュー(M)」内の項目で、情報の表示、設定等が行えます。



①バージョン情報を表示します。



②データの保存場所、表示言語の設定を行います。

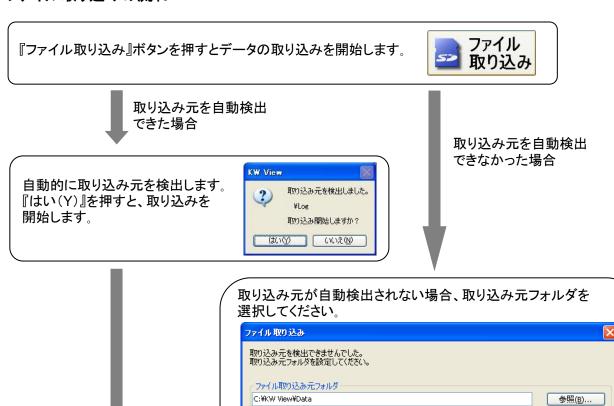


③KW View を終了します。

OK キャンセル

# 7章 ファイル取り込みについて

# 7.1 ファイル取り込みの流れ



取り込み元フォルダは、『DLUxxxx』が存在するフォルダを 選択してください。

取り込みが終了すると、取り込まれた番号が表示されます。



取り込み元をクリアする場合は、 『はい(<u>Y</u>)』 クリアを行わない場合は、 『いいえ(<u>N</u>)』を選択して下さい。



# 7.2 取り込みファイルについて

KW1M-H エコパワーメータ SD カード対応タイプ、

KW2G-H エコパワーメータ基本ユニット SD カード対応タイプのロギングデータファイルを取り込みます。

•KW1M-H

ファイル名 ··· syunji(YYMMDD\_hhmmss\_XXX).csv (XXX···TRG 等)

データ内容 · · · 1 時間毎の電力量、カウント値データ x 24 時間分

•KW2G-H

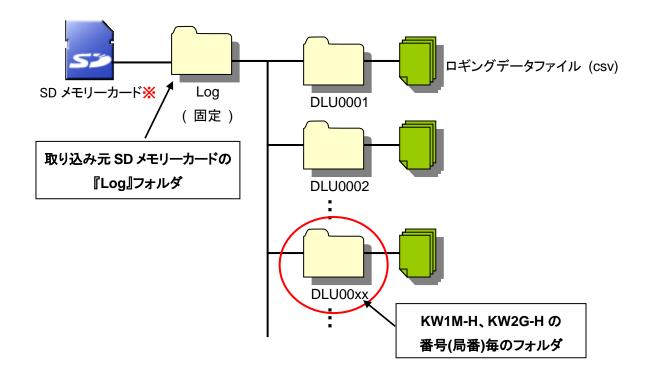
ファイル名 · · · syunji\_uN(YYMMDD\_hhmmss\_XXX).csv

(N·・・ユニット番号(基本ユニット:0、増設ユニット:1~7)、XXX·・・TRG等)

データ内容 · · · 15 分毎の電力量、カウント値データ、デジタル変換値データ × 24 時間分

# 7.3 ファイル取り込み元(SD メモリーカード内)構成について

KW View でファイル取り込みを行うとき、SD メモリーカード内は下記の構成になっており、 KW View は、**[ドライブ名]¥Log** を検索し、見つかった『**Log**』フォルダを取り込み元と認識します。 また、検索するドライブは**リムーバブルディスク**が対象となります。



# 【ご使用になる SD メモリーカードに関して】

KW1M-H 本体、KW2G-H 本体では、SD および SDHC ともに認識可能ですが、

ご使用になるカードリーダーやパソコンの SD カードスロットによっては、

SDHC 規格に準拠していない場合がありますので、

必ずご使用のパソコンで認識可能な SD メモリーカードをご使用下さい。

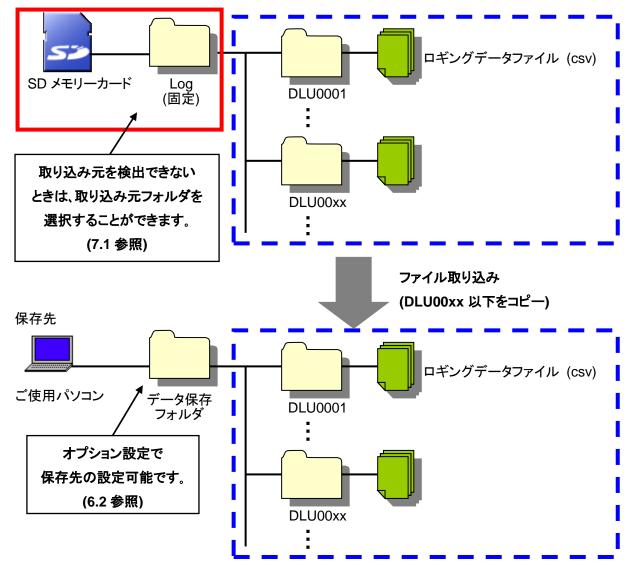
また、KW1M-H 本体、KW2G-H 本体で推奨している SD メモリーカードがありますので、

詳しくは本体マニュアルを参照して下さい。

# 7.4 ファイル取り込み

取り込み元に存在する番号(局番)毎のフォルダ以下のデータ(※1)を、ご使用のパソコンのデータ保存フォルダ内に取り込みます。(※2)

#### 取り込み元



SD メモリーカードとパソコンのフォルダ内にあるデータ種別(KW1M-H データ、KW2G-H データ)によって取り込めるデータが異なります。

詳細は下記表の通りです。

パソコン内 SD メモリーカード内	KW1M-H データ	KW2G-H データ	データなし
KW1M-H データ	0	×	0
KW2G-H データ	×	0	0
KW1M-H、KW2G-H 混在	○(KW1M-H データ)	O(KW2G-H データ)	Δ

〇:取り込み可

×:取り込み不可

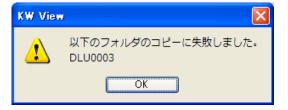
△:取り込みデータ選択

#### 【注意事項】

- ※1 取り込むファイルは、ロギングデータファイル (syunji\*.csv)のみです。
- ※2 取り込み先に、同じ名前のファイルが既に存在する場合、上書きはされません。 ファイルの取り込みは、常に新ファイルのみを取り込みます。
- ※3 取り込み完了後、取り込んだ番号と、取り込み元をクリアするかの確認メッセージが 表示されます。

クリアする場合は、クリア完了メッセージが表示されるまで SD メモリーカードを 抜かないでください。

- ※4 KW1M-H、KW2G-H のデータは SD メモリーカード以外から取り込むことはできません。
- ※5 Windows 8.1 以降の OS 環境では、ユーザアカウントコントロール(UAC)を有効にし、 Program File フォルダの下にお客様で作成されたファイルを保存した場合、 実際のファイルは/userID/AppData/Local/VirtualStore に自動保存されます。
- ※6 すでにパソコンに取り込まれているファイル名と同じファイル名は取り込みを行いませんのでご注意ください。
- ※7 ファイルの取り込みに失敗した場合、取り込みに失敗したフォルダ名が表示されます。



取り込みに失敗したファイルについては、Windows Explorer 等を用いて、手動でファイルの取り込みができます。

# 8章 CO2 換算係数設定について

メニュー画面の「CO2換算係数設定」ボタンを押すと、次のような画面が表示されます。



CO<sub>2</sub> 換算値を入力し、「**設定」**ボタンを押すと、設定値が更新され、メニュー画面に戻ります。 「キャンセル」ボタンを押すと、設定値は「現在値」のままで、メニュー画面に戻ります。



# 9章 料金換算係数設定について

メニュー画面の「料金換算係数設定」ボタンを押すと、次のような画面が表示されます。



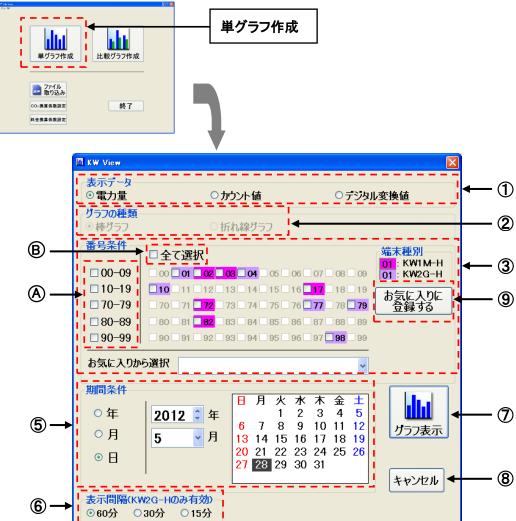
料金換算値を入力し、「設定」ボタンを押すと、設定値が更新され、メニュー画面に戻ります。 「キャンセル」ボタンを押すと、設定値は「現在値」のままで、メニュー画面に戻ります。

# 【設定値の入力制限】 小数点以下の桁数:最大4桁まで 最大入力桁数 :10 桁 初期値 :11 /kWh 【単位の入力制限】 入力文字数:最大全角 10 文字 【値の算出方法】 例) 積算電力量 :332.72 kWh 電気料金換算係数 :11 電気料金 = 332.72 × 11 = 3659.92 [単位設定] ※小数点以下第5位を四捨五入 ※算出された電気料金は、あくまで目安です。 ※単位設定は、グラフ表示の電気料金の単位表示に 反映されます。

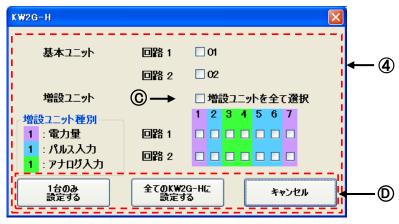
# 10章 単グラフ表示

# 10.1 条件選択

メニュー画面の「**単グラフ作成」**ボタンを押すと、次のような画面が表示されます。



③の番号条件で KW2G-H の番号を選択すると 次のような画面が表示されます



#### ①表示データ

グラフ表示するデータ(電力量、カウント値、デジタル変換値)を選択します。

#### ②グラフ種類

表示するグラフの種類(棒グラフ、折れ線グラフ)を選択します。

棒グラフは選択した番号条件の合計データをグラフ表示します。

折れ線グラフは選択した番号条件毎のデータをグラフ表示します。

- ※ 表示データを電力量に設定した場合は選択できません。(電力量は棒グラフ固定です。)
- ※ 折れ線グラフを選択した場合、番号条件の選択は最大 20 点です。

#### ③番号条件

グラフ表示を行う番号を選択します。

取り込んだ番号のみ選択可能です。(選択できない番号は、グレー表示)

取り込んだ番号の種別によって番号が色分けされます。(KW1M-H:ピンク色、KW2G-H:紫色)

Aをチェックすると 10 個単位で、一度に選択することができます。

(KW2G-H の基本ユニット、増設ユニットも全て選択されます。)

B(全て選択)をチェックすると、全ての番号を一度に選択することができます。

(KW2G-H の基本ユニット、増設ユニットも全て選択されます。)

また、番号条件を予めお気に入りに登録しておくと、「お気に入りから選択」リストから

番号条件パターンを選択できます。

お気に入りの登録は、番号選択後「お気に入りに登録する」ボタンを押すと、

登録フレームが表示されます。(お気に入り登録に関しては 10.2 参照)

取り込んだデータ番号数によって、表示パターンが変化します。

また、10の位が同じ番号の中でひとつも存在しない場合、その 10個の番号は非表示になります。

#### ·表示番号数:20 個以下

番号条件	□全て	選択			
□ 00-09	00	<b>01</b>		□ 03	□ 04
	□ 05	<del>-</del> 06	□ 07	□ 08	□ 09
□10-19		□11	□ 12	□13	<b>1</b> 4
	□ 15	□ 16	□ 17	□18	□ 19

#### ·表示番号数:50 個以下



# ·表示番号数:51 個以上

-番号条件 - 	□全て選択
□ 00-09	00 01 02 03 04 05 06 07 08 09
<b>10–19</b>	
20-29	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
30-39	30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
□ 40-49	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49
50-59	50 51 52 53 54 55 56 57 58 58 59
60-69	<b>□ 60</b> □ 61 □ 62 □ 63 □ 64 □ 65 □ 66 □ 67 □ 68 □ 69
□ 70-79	70 71 72 73 74 75 76 <b>77</b> 78 <b>79</b>
80-89	80 81 82 83 84 85 86 87 88 89
90-99	90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

# ④KW2G-H 番号条件(KW2G-H のみ有効)

グラフ表示を行うユニット番号を選択します。(選択できない増設ユニット番号は、グレー表示) 増設ユニットはユニット種別ごとに色分けされます。

(電力測定:紫色、パルス入力:青色、アナログ入力:緑色)

回路 1 は CT1(電力計測)または CH0(パルス入力、アナログ入力)、

回路 2 は CT2(電力計測)または CH1(パルス入力、アナログ入力)で取得したデータを グラフ表示します。

(電力計測において単相3線式/三相3線式の電力量は回路1のみ有効です。)

- ③の番号条件で KW2G-H の番号を選択することによって KW2G-H 設定画面が表示されます。 また、③の番号条件で KW2G-H の番号を右クリックして「KW2G-H」を選択することでも KW2G-H 設定画面を表示することができます。
- ② をチェックすると増設ユニットを一度に全て選択できます。
- ②を選択することで KW2G-H 番号条件を決定、キャンセルができます。
  - •1 台のみ設定する : 設定した値を選択した番号の KW2G-H のみ設定します。
  - ・全ての KW2G-H に設定する: KW2G-H の番号条件全てに同じ値を設定します。
  - キャンセル :設定した値をキャンセルして単グラフ作成画面に戻ります。

#### ⑤期間条件

グラフ表示する期間(年、月、日)を選択し、日付を指定します。

※ 表示データにデジタル変換値を選択した場合、期間条件の年、月は選択できません。

#### ⑥表示間隔(KW2G-H のみ有効)

グラフを表示する間隔(60分、30分、15分)を選択します。

期間を年、月に設定した場合、グレー表示になります。

- ※ 期間条件を日以外に設定すると表示されません。
- ※ KW1M-H は 60 分固定です。

#### ⑦グラフ表示

選択された条件で、グラフを表示します。(10.3参照)

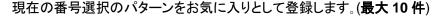
# ⑧キャンセル

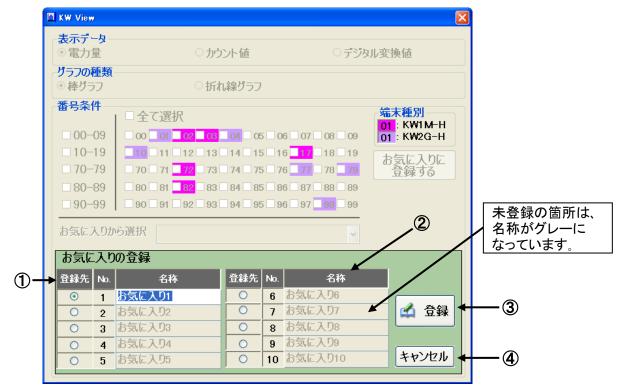
グラフ作成をキャンセルし、メニュー画面に戻ります。

# ⑨お気に入りに登録する

番号選択のパターンをお気に入りとして登録します。(10.2 参照)

# 10.2 お気に入り登録





#### ① 登録先

登録 No.を選択します。「登録先」ボタンをチェックすると、お気に入り名称が入力できます。

- **②**名称
- ①で選択した登録 No.の名称を入力します。(最大 10 文字)
- ③登録

お気に入り登録を保存し、「条件選択」の状態に戻ります。

④キャンセル

登録をキャンセルし、「条件選択」の状態に戻ります。

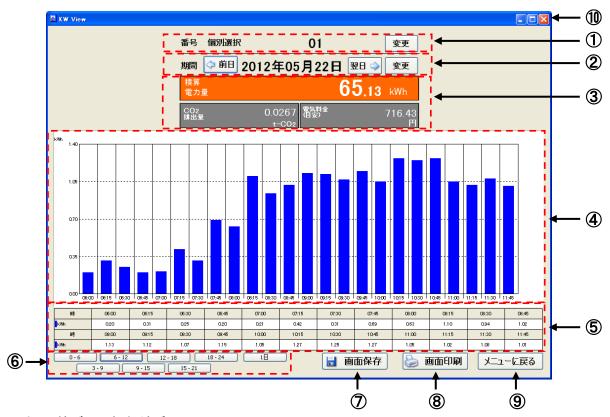
# 【注意事項】

- 一度登録を行うと、未登録にできません。
- 10 件登録したら、その後は、上書き登録になります。
- -Ver.1.20 以前に登録したお気に入りデータとの互換性はありません。

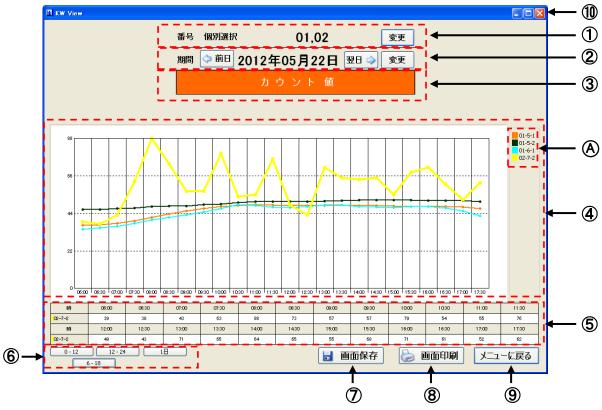
# 10.3 単グラフ画面

表示データ、グラフの種類、選択された番号、期間(日付)、表示間隔でグラフ表示します。

# ●電力量グラフ



# ●カウント値グラフ(折れ線グラフ)



#### ①番号

現在選択されている番号が表示されます。お気に入りから選択した場合は、お気に入り名称が表示されます。この表示にマウスカーソルを当てると、選択されている全ての番号を確認することができます。また、「変更」ボタンを押すと、番号選択を変更することができます。

#### ②期間

現在選択されている日付を表示します。「**変更」**ボタンを押すと、期間選択を変更することができます。 また、「**前日(前月、前年)」、「翌日(翌月、翌年)」**ボタンで、日(月、年)を前後に送ることができます。

#### ③計測データ

選択した表示データ(電力量、カウント値、デジタル変換値)によって表示項目が次のように変わります。

•電力量

合計電力量および、電力量と換算係数で算出した CO<sub>2</sub> 排出量と電気料金(目安)を表示します。 表示析数は、次のとおりです。

·積算電力量 :整数 10 桁、小数点以下 2 桁

·CO<sub>2</sub> 排出量 :最大 12 桁(小数点以下 5 桁までの可変)

・電気料金 :最大 12 桁(小数点以下 4 桁までの可変)

・カウント値、デジタル変換値(棒グラフ)

カウント値、デジタル変換値を表示します。表示桁数は次の通りです。

・カウント値 :整数 12 桁

・デジタル変換値:整数 9 桁、小数点以下 3 桁

また、最大表示桁数以上の桁数になると、「- - -」表示になります。 グラフ種類で折れ線グラフを選択した場合、表示データの名称のみ表示されます。

# ④グラフ表示エリア

ロギングデータファイルを読込み、グラフ表示します。

・年表示:月毎の棒グラフ、折れ線グラフ

・月表示:日毎の棒グラフ、折れ線グラフ

·日表示 :1 時間毎の棒グラフ、折れ線グラフ(KW1M-H)

設定した表示間隔(60分、30分、15分)の棒グラフ、

折れ線グラフ(KW2G-H)

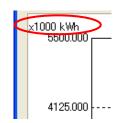
グラフの種類で折れ線グラフを選択した場合、グラフの右側( **(A**)に凡例 (局番ー増設ユニット番号ー回路番号)が表示されます。

〇の色、番号条件をクリックすると詳細データ表示エリアにクリックしたデータが表示されます。

## 【注意事項】

グラフ表示は、表示する値により、オートスケールになります。

スケールの整数部が5桁を超えると、次のようなスケール表示になります。



#### ⑤詳細データ表示エリア

グラフ表示されているデータを数値で表示します。表示桁数は、次のとおりです。

・年表示:月毎の電力量(整数:8 桁、小数点以下:2 桁)、カウント値(整数 8 桁)、

デジタル変換値(整数8桁、小数点以下:最大5桁までの可変)

・月表示:日毎の電力量(整数:6 桁、小数点以下:2 桁)、カウント値(整数 6 桁)、

デジタル変換値(整数6桁、小数点以下:最大5桁までの可変)

・日表示 :1 時間毎の電力量(整数:6 桁、小数点以下:2 桁)、カウント値(整数 6 桁)、

デジタル変換値(整数6桁、小数点以下:最大5桁までの可変)

また、最大表示桁数以上の桁数になると、「---」表示になります。

#### ⑥グラフ表示時間切り替え

表示間隔を30分、15分に設定した場合、グラフ表示時間を変更することができます。 表示時間は次のとおりです。

·表示間隔-30 分 :0 時-12 時、6 時-18 時、12 時-24 時、1 日

·表示間隔-15分 :0 時-6 時、3 時-9 時、6 時-12 時、9 時-15 時、

12 時-18 時、15 時-21 時、18 時-24 時、1 日

また、表示時間を1日に設定した場合、詳細データは表示されません。

※表示間隔を60分に設定した場合、グラフ表示時間切り替えのボタンは表示されません。

#### ⑦画像保存

表示中の画面を画像データファイル(ビットマップ形式)に保存することができます。

# ⑧画面印刷

表示中の画面を印刷することができます。

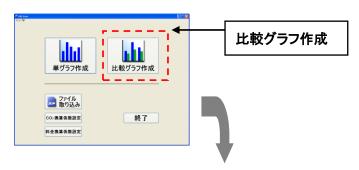
# 【注意事項】

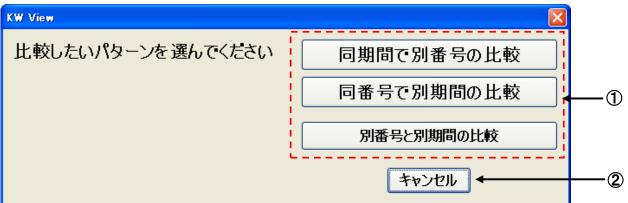
- ・グラフ画面を縮小した状態で画面印刷、画面保存を行うと、フルサイズ イメージではなく、現在の縮小されたままのイメージで印刷、保存されますのでご注意下さい。
- ⑨メニューに戻るメニュー画面に戻ります。
- ⑩「×」ボタン KW View を終了します。

# 11章 比較グラフ表示

# 11.1 比較パターン選択

メニュー画面の「比較グラフ作成」ボタンを押すと、次のような画面が表示されます。





# ① パターン

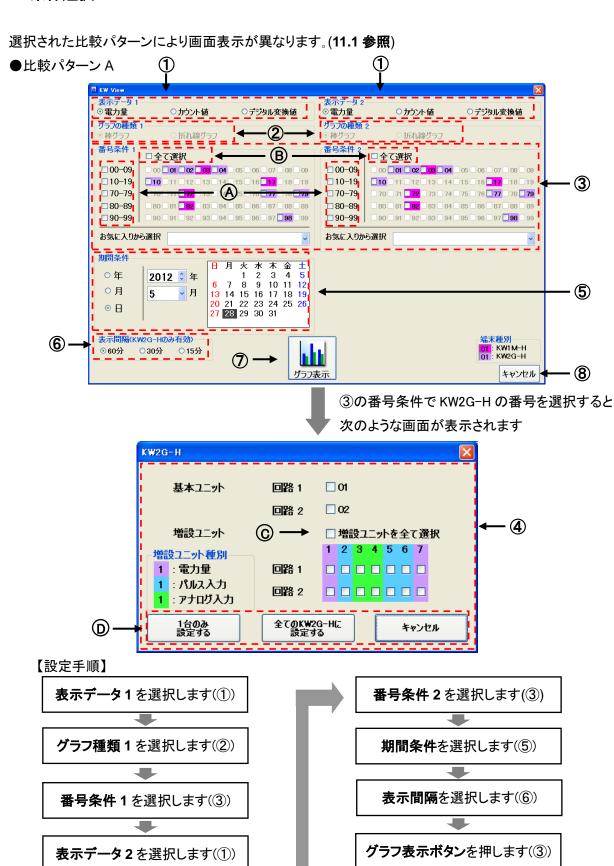
比較したいパターンのボタンを押すと、条件選択の画面が表示されます。

- ・同期間で別番号の比較 : 同じ期間で別々の番号(局番)の比較を行います
  - => 比較パターン A(11.2 及び 11.3 参照)
- ·同番号で別期間の比較 : 同じ番号(局番)で別々の期間の比較を行います。
  - => 比較パターン B(11.2 及び 11.3 参照)
- ・別番号の別期間の比較:別々の番号(局番)・別々の期間の比較を行います。
  - => 比較パターン C(11.2 及び 11.3 参照)

# ②キャンセル

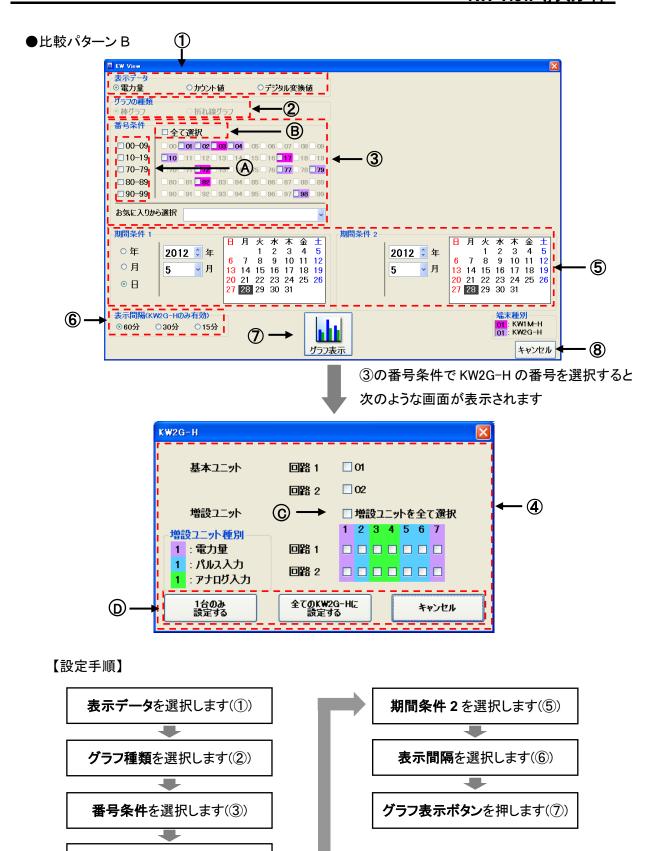
操作をキャンセルし、メニュー画面に戻ります。

# 11.2 条件選択

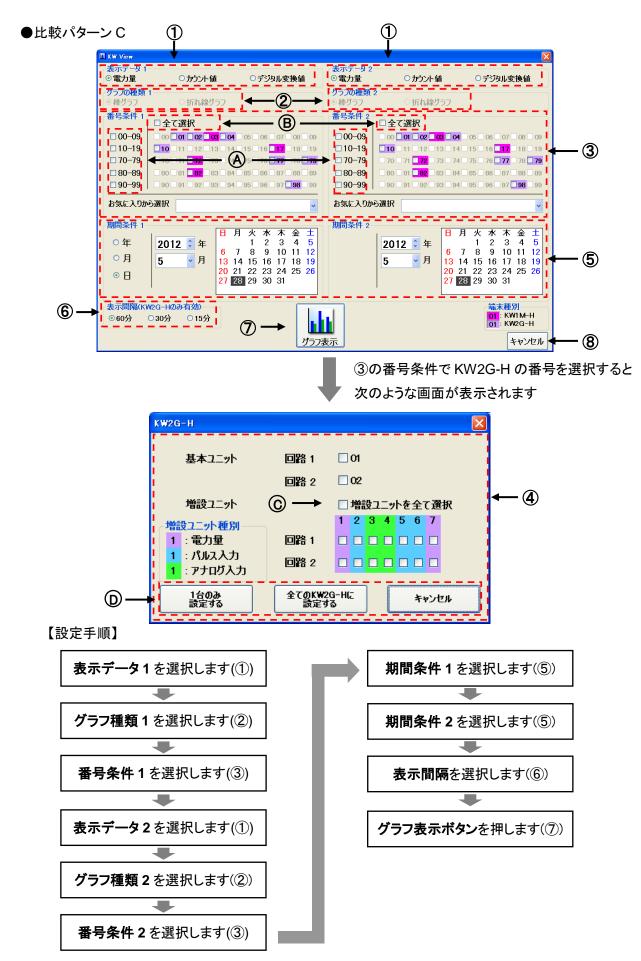


1

**グラフ種類 2** を選択します(2)



期間条件1を選択します(⑤)



#### ①表示データ

グラフ表示するデータ(電力量、カウント値、デジタル変換値)を条件 1、2 それぞれで選択します。

#### ②グラフ種類

表示するグラフの種類(棒グラフ、折れ線グラフ)を選択します。

棒グラフは選択した番号条件の合計データをグラフ表示します。

折れ線グラフは選択した番号条件毎のデータをグラフ表示します。

- ※ 表示データを電力量に設定した場合は選択できません。(電力量は棒グラフ固定です。)
- ※ 折れ線グラフを選択した場合、番号条件の選択は最大 20 点です。

#### ③番号条件 1·番号条件 2

グラフ表示を行う番号を選択します。(選択できない番号は、グレー表示)

取り込んだ番号の種別によって番号が色分けされます。(KW1M-H はピンク色、KW2G-H は紫色)

Aをチェックすると 10 個単位で、一度に選択することができます。

(KW2G-H の基本ユニット、増設ユニットも全て選択されます。)

(B)(全て選択)をチェックすると、全ての番号を一度に選択することができます。

(KW2G-H の基本ユニット、増設ユニットも全て選択されます。)

また、番号条件を予めお気に入りに登録しておくと、「お気に入りから選択」

リストから番号条件パターンを選択できます。

#### 【注意事項】

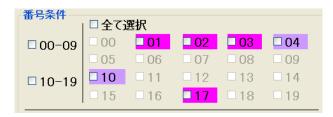
お気に入りの登録は、単グラフの条件選択画面でのみ行うことができます。

比較グラフ作成ではお気に入り登録はできません。

取り込んだデータ番号数によって、表示パターンが変化します。

また、10の位が同じ番号の中でひとつも存在しない場合、その10個の番号は非表示になります。

# ·表示番号数:20 個以下



#### ·表示番号数:50 個以下



#### ·表示番号数:51 個以上



# ④KW2G-H 番号条件(KW2G-H のみ有効)

グラフ表示を行うユニット番号を選択します。(選択できない番号は、グレー表示)

増設ユニットはユニット種別ごとに色分けされます。

(電力測定:紫色、パルス入力:青色、アナログ入力:緑色)

回路 1 は CT1(電力計測)または CH0(パルス入力、アナログ入力)、

回路 2 は CT2(電力計測)または CH1(パルス入力、アナログ入力)で取得したデータを グラフ表示します。

(電力計測において単相3線式/三相3線式の電力量は回路1のみ有効です。)

- ③の番号条件で KW2G-H の番号を選択することによって KW2G-H 設定画面が表示されます。また、③の番号条件で KW2G-H の番号を右クリックして「KW2G-H」を選択することでも KW2G-H 設定画面を表示することができます。
- ⑥ をチェックすると増設ユニットを一度に全て選択できます。接続されていない増設ユニット、アナログの増設ユニットの番号が選択された場合、値を 0 としてグラフ表示を行います。
- ○Dを選択することで KW2G-H 番号条件を決定、キャンセルができます。

•1 台のみ設定する : 設定した値を選択した番号の KW2G-H のみ設定します。

-全ての KW2G-H に設定する : KW2G-H の番号条件全てに同じ値を設定します。

キャンセル :設定した値をキャンセルして単グラフ作成画面に戻ります。

# ⑤期間条件 1·期間条件 2

グラフ表示する期間(年、月、日)を条件 1,2 共通で選択し、日付を条件 1,2 それぞれで指定します。

※ 表示データにデジタル変換値を選択した場合、期間条件の年、月は選択できません。

# ⑥表示間隔(KW2G-H のみ有効)

グラフ表示する間隔(60分、30分、15分)を条件1、2共通で選択します。

- ※ 期間条件を日以外に設定すると表示されません。
- ※ KW1M-H は 60 分固定です。

# ⑦グラフ表示

選択された条件で、グラフを表示します。(11.3参照)

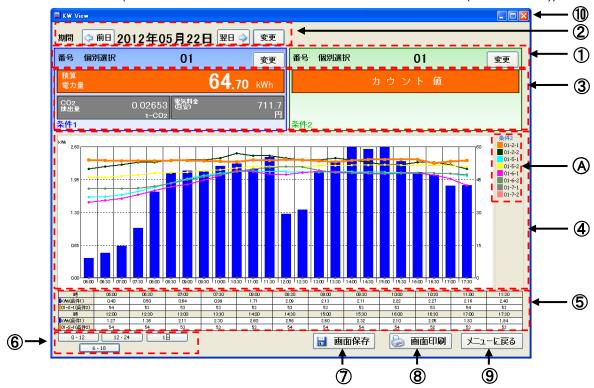
# 8キャンセル

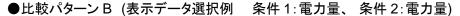
グラフ作成をキャンセルし、メニュー画面に戻ります。

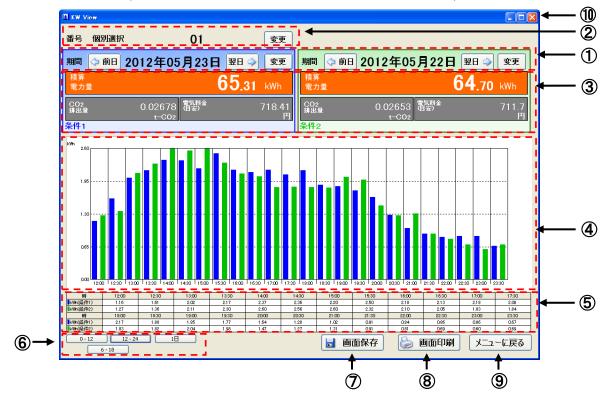
# 11.3 比較グラフ画面

選択された番号、期間(日付)でロギングデータファイルを検索し、グラフ表示します。 選択された比較パターンにより画面表示が異なります。(11.1 参照)

●比較パターン A (表示データ選択例 条件 1:電力量、条件 2:カウント値(折れ線グラフ))

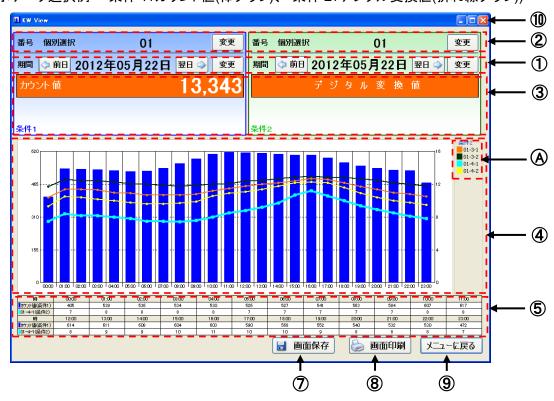






#### ●比較パターン C

(表示データ選択例 条件 1:カウント値(棒グラフ)、条件 2:デジタル変換値(折れ線グラフ))



#### ①番号

現在選択されている番号が表示されます。お気に入りから選択した場合は、お気に入り名称が表示されます。この表示にマウスカーソルを当てると、選択されている全ての番号を確認することができます。また、「**変更**」ボタンを押すと、選択されている番号を変更することができます。

#### ②期間

現在選択されている日付を表示します。「変更」ボタンを押すと、期間選択を変更することができます。 また、「前日(前月、前年)」、「翌日(翌月、翌年)」ボタンで、日(月、年)を前後に送ることができます。

#### ③計測データ

選択した表示データ(電力量、カウント値、デジタル変換値)によって表示項目が次のように変わります。

•電力量

合計電力量および、電力量と換算係数で算出した CO2 排出量と電気料金(目安)を表示します。 表示析数は、次のとおりです。

·積算電力量 :整数 10 桁、小数点以下 2 桁

·CO<sub>2</sub> 排出量 :最大 12 桁(小数点以下 5 桁までの可変)

・電気料金 :最大 12 桁(小数点以下 4 桁までの可変)

・カウント値、デジタル変換値(棒グラフ)

カウント値、デジタル変換値を表示します。表示桁数は次のとおりです。

・カウント値 :整数 12 桁

・デジタル変換値 :整数9桁、小数点以下3桁

また、最大表示桁数以上の桁数になると、「- - -」表示になります。

グラフ種類で折れ線グラフを選択した場合、表示データの名称のみ表示されます。

# ④グラフ表示エリア

ロギングデータファイルを読込み、グラフ表示します。

·年表示:月毎の棒グラフ、折れ線グラフ

・月表示:日毎の棒グラフ、折れ線グラフ

·日表示 :1 時間毎の棒グラフ、折れ線グラフ(KW1M-H)

設定した表示間隔(60分、30分、15分)の棒グラフ、

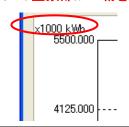
折れ線グラフ(KW2G-H)

グラフの種類で折れ線グラフを選択した場合、グラフの右側(A)に凡例 (局番ー増設ユニット番号ー回路番号)が表示されます。

## 【注意事項】

グラフ表示は、表示する値により、オートスケールになります。

スケールの整数部が5桁を超えると、次のようなスケール表示になります。



# 5詳細データ表示エリア

グラフ表示されているデータを数値で表示します。表示桁数は、次のとおりです。

・年表示:月毎の電力量(整数:8 桁、小数点以下:2 桁)、カウント値(整数 8 桁)、

デジタル変換値(整数:8 桁、小数点以下: 最大 5 桁までの可変)

・月表示:日毎の電力量(整数:6 析、小数点以下:2 析)、カウント値(整数 6 析)

デジタル変換値(整数:6 析、小数点以下: 最大 5 桁までの可変)

・日表示 :1 時間毎の電力量(整数:6 桁、小数点以下:2 桁)、カウント値(整数 6 桁)

デジタル変換値(整数:6 桁、小数点以下: 最大 5 桁までの可変)

また、最大表示桁数以上の桁数になると、「---」表示になります。

## ⑥グラフ表示時間切り替え

表示間隔を30分、15分に設定した場合、グラフ表示の表示時間を切り替えることができます。 表示時間は次の通りです。

·表示間隔-30分:0時-12時、6時-18時、12時-24時、1日

·表示間隔-15分:0時-6時、3時-9時、6時-12時、9時-15時、

12 時-18 時、15 時-21 時、18 時-24 時、1 日

また、表示時間を1日に設定した場合は、詳細データは表示されません。

## ⑦画像保存

表示中の画面を画像データファイル(ビットマップ形式)に保存することができます。

#### ⑧画面印刷

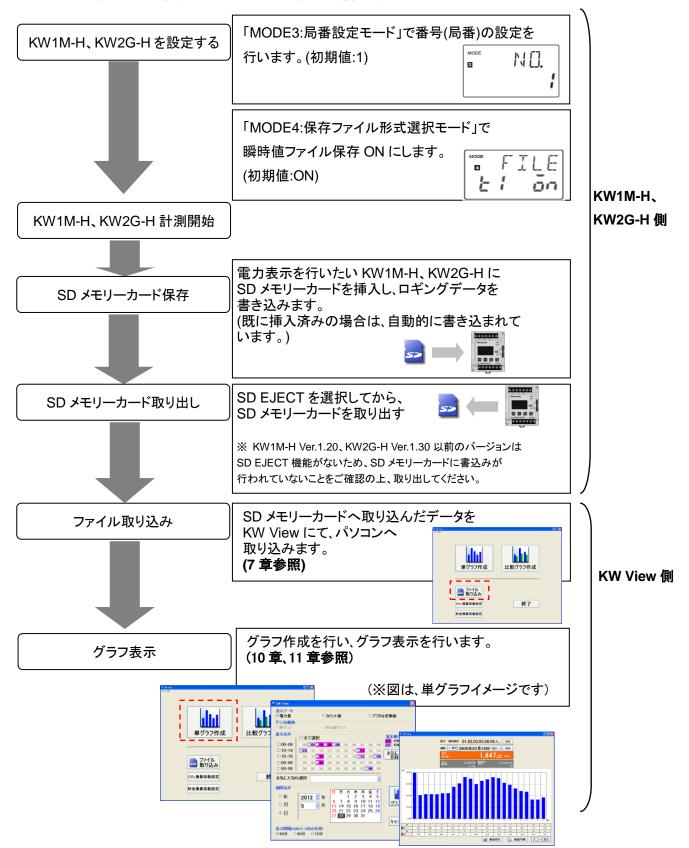
表示中の画面を印刷することができます。

# 【注意事項】

- ・グラフ画面を縮小した状態で画面印刷、画面保存を行うと、フルサイズ イメージではなく、現在の縮小されたままのイメージで印刷、保存されますので ご注意下さい。
- ③メニューに戻るメニュー画面に戻ります。
- ⑩「×」ボタン KW View を終了します。

# 12章 付録 1

#### KW1M-H、KW2G-H 設置から KW View で、グラフを表示するまで



※KW1M-H、KW2G-H の詳細設定は、KW1M-H、KW2G-H のマニュアルをご覧下さい。

# マニュアル改訂履歴

マニュアル番号	改訂内容
ARCT1F500	初版発行
ARCT1F500-1	2版 Ver.1.20
	バージョンアップについての説明追加
	言語切替についての説明追加
ARCT1F500-2	3 版 Ver.1.30
	KW2G-H についての説明追加
	表示データ(電力量、カウント値)についての説明追加
ARCT1F500-3	4 版 Ver.1.40
	表示データ(デジタル変換値)、グラフ種類についての説明追加
ARCT1F500-4	5 版 Ver.1.50
	デジタル変換値の小数点表示についての説明追加
ARCT1F500-5	6版 Ver.1.51
	Windows8 に対応しました
ARTC1F500-6	7版 Ver1.52
	ファイル取り込みについての注意事項修正
	Window10 に対応しました
ARTC1F500-7	8版 Ver.1.53
	ファイル取り込みについての注意事項追加修正
ARCT1F500-8	9版 Ver.1.53
	サポート対象 OS から Windows XP, Vista, 7, 8 を除外
	ARCT1F500-1  ARCT1F500-2  ARCT1F500-3  ARCT1F500-4  ARCT1F500-5  ARTC1F500-6  ARTC1F500-7

●在庫・納期・価格など、販売に関するお問い合わせは -

●技術に関するお問い合わせは

コールセンタ・フリーダイヤル

TEL 0120-394-205 FAX 0120-336-394

※サービス時間/9:00~17:00(12:00~13:00、当社休業日を除く)

Webでのお問い合わせ panasonic.net/id/pidsx

# パナソニック デバイス SUNX株式会社 パナソニック デバイス SUNX 竜野株式会社

〒679-4123 兵庫県たつの市龍野町片山300番地

© Panasonic Industrial Devices SUNX Co., Ltd. 2021

本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このマニュアルの記載内容は2021年4月現在のものです。